

## 平成 24 年度 第 2 回 磐田市歴史文書館運営審議会

日時 平成 25 年 3 月 13 日 (水) 13:30 ~ 15:11

場所 磐田市竜洋支所 2 階 会議室

出席者 市歴史文書館運営審議会委員 6 名

鈴木直会長 鈴木潔委員 高橋委員 市川委員 杉浦委員  
石川委員

出席職員 教育委員会事務局職員 6 名

飯田教育長 鈴木事務局長 山崎課長 佐藤館長 山室副主任 永井囑託

傍聴人 なし

### 議事 1. 報告事項

#### (1) 非現用公文書等の移管選別状況について

〔事務局より説明〕

〔委員からの意見〕

**開館から 5 年経過したが、現在に至って最も苦労された点はどういうところか。**

(回 答) 当初は、保存期限が満了した公文書について、各部署で残すべきと判断したものを歴史文書館に移管する規定だったため、移管は進んでいなかったと思う。しかし、歴史文書館が保存文書を指定できるようになり、搬入が見込めるようになったが、当初は心配した。また、保存期限満了前の旧市町村文書があり、配慮しながら対応をしたい。

#### (2) 企画展、レファレンス利用状況について

〔事務局より説明〕

〔委員からの意見〕

**遠方からの、磐田市に関するレファレンス内容とは何か。**

(回 答) 盛岡市在住者からクマガイヨウデンについて、郡山市の方から椎ヶ脇神社と有玉神社についてなどの問い合わせがあった。

#### (3) 地域資料の受入れ整理状況について

〔事務局より説明〕

〔委員からの意見〕

**寄贈資料の整理の進捗状況は。**

(回 答) 目録作成までは進んでいるが、資料分析までには至っていない。

#### (4) 地域資料の受入れ整理状況について

〔事務局より説明〕

〔委員からの意見〕 なし (承認)

### 2. 協議事項

#### (1) 平成 25 年度事業計画について

〔事務局より説明〕

〔委員からの意見〕 なし (承認)

#### (2) 歴史文書館要覧について

〔事務局より説明〕

〔委員からの意見〕

**作成部数 120 部は少ないか。**

(回 答) 刷り増しも可能であり、ご意見があれば考慮したい。

**「欲しい」という人があるかもしれない。販売や頒布はしないのか。**

(回 答) 要望があった場合、コピーサービス(有料)で対応する。同様に、図書館にも行政資料として配布をする。

**表紙の磐田市イメージキャラクターはセンターに配置しなくてもいいのでは。多少右下などに配置したらどうか。**

(回 答) さりげなく配置することを検討する。

(3)歴史文書館管理運営要領の一部改正(案)について

〔事務局より説明〕

〔委員からの意見〕

**文化財課の中で協議が済んでいることではないか。**

(回 答) 済んでいることである。

**今まで選別が済んでいるものは今後見直していくのか。**

(回 答) 開館当初から「文書は 50 パーセント残す」ということできた。これを見直さないと、収蔵しきれものではないという考えに至った。いずれ再選別するが、初めて選別するものがかなりあるので、一度選別して保存と決定したものを再選別できる状態ではない。

3. その他

〔委員からの意見〕

**福田図書館のどこで企画展を行うのか。**

(回 答) 雑誌コーナーで行う。

**あまり並べることができないのではないか。**

(回 答) ファイル形式のものにして持って行く。また、今回の企画は、「ちょっと立ち寄る」という感じを考えていたので、趣旨に合っていると思う。

**自治体の視察は年間に、県内外ではどの程度あるのか。**

(回 答) (案)要覧に記載したが、20 年度を例として挙げると、県の文書室、豊橋市議会議員、倉敷市、札幌市などから視察があった。

**磐田市歴史文書館はあまり知られていないのか。**

(回 答) 国立公文書館から紹介されている。知られていないということはない。

**管理運営要領内の「歴史価値を判断」は誰がやるのか。**

(回 答) 職員の判断である。

**「断簡など判読できないもの」とあるが、切れっ端や判読できないものを未整理資料として取っておくのか。**

(回 答) 基本的には取っておく。他の資料が出てきたときにつながる可能性がある。

**判読できないものは判読できないのである。また、「歴史文書館は次に掲げるレファレンスを行なわないことができる。」とし、「歴史的公文書等または古文書等の解**

読・翻訳・鑑定」とあるが、翻訳は少し難しいし、鑑定は素人がやるべきではない。  
ただ、古文書等の解読を行わないことができるというのは誰が決めたのか。

(回 答) 要領は総務課との話し合い、運営審議会で提案し、決定した。

今までは断ったことがないが、断ってもよいということか。

(回 答) 依頼内容・程度によって異なるのではないか。また、検討したい。

文書のデジタル化が進められているが、大事な文書が将来に残っていないのではないか。

(回 答) 総合内部事務システム導入の準備を進めている。長期的な文書保存の仕方などを調整している。

歴史文書館が先に受け入れたものの整理がついたら、個人で保管している文書を持ち込みたい。